**受入時点における受入病院による研修医の評価**

様式B-３－１

臨床研修を受けた外国の病院や研修医本人からの聞き取り等を基に（平成16年４月１日以降に日本で臨床研修を受けたことがある場合は、臨床研修中断までの評価も含め）、下の研修医評価票に沿って受入時点における研修医の評価を記入すること。

**研修医評価票 Ⅰ**

**「A. 医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)」に関する評価**

研修医名

記載日　　　　　　年　　　月　　　日

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | レベル１  期待を  大きく  下回る | レベル２  期待を  下回る | レベル３  期待  通り | レベル４  期待を  大きく  上回る | 観察  機会  なし |
| A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与  社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。 | □ | □ | □ | □ | □ |
| A-2. 利他的な態度  患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。 | □ | □ | □ | □ | □ |
| A-3. 人間性の尊重  患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。 | □ | □ | □ | □ | □ |
| A-4. 自らを高める姿勢  自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。 | □ | □ | □ | □ | □ |

**※「期待」とは、「研修修了時に期待される状態」とする。**